

団体紹介

『唄うことが好き』

中伊豆コールあじさい

『中伊豆コールあじさい』は、平成元年に結成されました。町の花「あじさい」を団名にし、町の

行事や各種音楽会に参加してきました。4月から伊豆市になりましたが、中伊豆という名前を残し、

このままの『中伊豆コールあじさい』の団名で活動をします。



唄うことが大好きな仲間が集まりです。現在団員は、36名で、20代から60代までと年齢は幅広く、職業もバラエティー豊かです。団員はそれぞれの仕事もち忙しいですが、練習には毎回大勢の団員が参加してくれます。練習会場は、中伊豆中央公民館です。練習は、月2回・水曜日の7時45分から9時30分まで行っています。瓜島昌子先生と荻原真奈美先生が指導をしてくれます。平成15年度は、町の『音楽の集い』、TEPCOの1万人のコンサート『眠り王』への参加や各種音楽会の鑑賞の活動をし、3月の中伊豆閉町式典では、小中学生と一緒に歌う機

中伊豆町閉町式での小中学生との合唱



会があり、蛍の光・ふるさと・世界に一つだけの花の3曲で中伊豆町とお別れをしました。

今年度は、市の行事や文化協会の行事に参加し、団員の親睦会を予定しています。みんな、一つの合唱をつくりあげる喜びは、とても大きなもので、唄い終わった後の達成感と充実感は言葉では言い表せないほどです。唄うことが大好きな人、ぜひ一度練習をのぞいてみてください。どなたでも入団を歓迎いたします。

俳壇

樫の実俳句会（天城）

花時計立夏の日差し廻しけり  
（下船原 坪内 絹枝）  
天城嶺の四方にそばたち夏  
来たる

（月ヶ瀬）安部 功子

杉鉾を研ぐ夏霧の忍者村

（月ヶ瀬）内田 みち

露天風呂若葉の中に身を浸す

（本柿木）飯塚 幸子

若楓谷間にさわく風の音

（門野原）石渡 まき

長き莖折れば夏立つ音がする

（市）山 大川 幸子

校庭に靖の詩碑や若葉風

（青羽根）浅田 千鶴

ぼつたんの一輪が笑む朝の膳

（吉）奈 五十嵐輝子

さざなみは植田に落とす山の声

（門野原）竹内さち子

葉桜や十六羅漢のなかを歩く

（大平柿木）高橋きい子

少女等の二の腕まぶし立夏かな

（青羽根）大村 照代

# みんなの広場



なお  
唐澤 奈麻ちゃん(太平)

- H14年10月13日生まれ
- 唐澤一・朱美さんの長女
- はじめまして、奈麻です。お外が大好きで、お兄ちゃんの野球の応援にも行くんだよ。



ゆうた  
鈴木 湧太くん(徳永)

- H14年8月25日生まれ
- 鈴木晴久・雅代さんの次男
- こんにちは、湧太です。シヤベルカーが大好きで、見つけると「ガー！ガー！」って叫んじゃう！

## ママのびびり

### ◎健康の秘訣

長年やっている日本舞踊が足腰にいいみたいです。友人たちと楽しんで踊りができるということが何より幸せです。

### ◎楽しみ・生きがい

何の気兼ねもなく、毎日楽しく過ごせる今の毎日があれば、それでいいです。いろいろな方にお世話になったので、皆さんに感謝しています。



## いきいき

内田あいさん

(月ヶ瀬)  
● 明治44年2月8日 (93歳)

### 歌壇

天城拾ひたるイモムシを子  
は埋めをりやがてはカブ  
トになるを夢みて

(柏久保)伊林 敏子  
竹の子の黄色き毛先やわら  
かに 朝露深く朝日輝く

(大 沢)遠藤かつ代  
薄緑の花芽膨らむみつまた  
を 水流るる音聞きつつ眺

む (柏久保)小柳出喜久江  
奏でらるピアノに酔ひしコ  
ンサート 翡翠の音はころ  
がりてゆけり

(長 岡)菊池すみ江  
すい込まる黄色の空のその  
彼方 求めるものしかと  
なけれど

(柏久保)木村 みよ  
みどり児の泣声ややかにたく  
ましくなりしを 聞ける若  
葉の窓辺に

(修善寺)杉村 良子  
房になりピンク濃くなる桜  
の花は 夕日を吸い込み輝  
きも増す

(柏久保) 関 奉子  
一片の辛夷の花びら舞ひを  
れば 次つき崩るる春一番  
に (柏久保)古橋美代子